

志 苑

滋賀県総合教育センター所報

〒520-2321 滋賀県野洲市北桜
TEL(077)588-2311 FAX(077)586-0011
http://www.shiga-ec.ed.jp/

平成23年3月

Vol.121

北の窓を開け、南の窓を開けて…… 風を入れる！

—「出かけるセンター」の有効活用と「学校力の向上」—

次長 日高 三行



あちらこちらから、花便りもほどなく聞かれる時候となりました。

この1年間の滋賀県総合教育センターの諸事業の推進に関わり、皆様のご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

今年度においても、子どもや子どもを取り巻く環境について考えさせられる様々なできごとがあり、教育の営みの責任と、それと正面から向き合う教員の資質と指導力向上をめざす当センターの責任の重さをひしひしと感じる日々でありました。

さて、センター諸事業での平成21・22年度の顕著な変化の一つに「出かけるセンター」の取り組みがあります。研修講座に参加したくとも教員がなかなか学校を離れにくい現状から、勤務地近くで受けたい、滋賀県、地域、学校事情に詳しく、実践的な指導助言を得たい等のニーズに応える事業であります。

平成23年1月末現在で124件、参加者のべ約4,600人といった状況です。

学校単位の小規模の校内研究会から地域での研修会、県内各教科等部会などで積極的に活用されております。学校からは校内研究会での指導助言への要請が多く、地域や各教科部会等ではセンター研究の発表の要請が主となっております。頻繁に要請のある学校長に

その理由を尋ねましたところ、

「研究や研修においては学校そのものがどうしても閉鎖的になってしまいがちである。

意図的に外からの風を入れることによって教職員の意識改革、そして、学校の活性化が図れる。また、学校のPDCAのCの役割にもなる。」と言った返事が印象に残りました。謝金等の心配もなく、日程調整も比較的しやすく、具体的な助言を得やすい等の声も聞きます。ただ、限られた学校や市町教育委員会、そして教科部会からの要請が主であり、まだまだこのようなセンターの取り組みが周知できていないことによるものと考えます。

何れにしましても、「様々な指導と助言ができる研修指導主事が育っている」ことと、「今日的な教育課題に即したセンターの実践的研究」が基本であり、そのような組織・研究実践システムの充実もセンターの使命の一つと考えます。

教育の様々な難局を乗り越えるため、滋賀県総合教育センターの有効活用を次年度の学校力向上の方策の一つとして検討していただき、新年度、新たな風がまた一つ、県下の学校に吹き渡ることを期待しております。

明日を生きる子どもに 確かな学力と 豊かな心を
—教職員の指導力アップ・資質の向上を目指して—

研 修

研 究

相 談

学 校 支 援

ステージに
応じた研修

教育実践に
役立つ研修

ニーズに
合わせた研究

研究成果物

特別支援
教育相談

教育学習情報
の提供

教育の情報化

出前発表と
出前支援

平成23年度 滋賀県総合教育センターの主な事業

滋賀の教育の先導となるよう総合教育センターは常に前進し続けます

● 研修事業

明日を生きる子どもに確かな学力と豊かな心を身に付けさせるうえで、教職員の資質の向上と指導力の育成は欠くことのできない不易の課題です。

滋賀県総合教育センターでは、滋賀の教職員が教育公務員として広く県民や社会から信頼を得られるような資質能力を育成するとともに、学校現場ですぐに役立つ実践的指導力および今日的課題への対応力を養成することを目的に、悉皆による法定研修や職務研修などの指定研修と、自らのニーズに応じて受講できる希望研修の二本柱で教職員研修を実施しています。



平成23年度 研修8つの重点事項

授業力向上	学級経営や生徒指導
教職員の専門性・指導力の向上を図る研修	
特別支援教育の推進	外国人児童生徒への対応や国際教育
視野を広げる体験	教職員としての使命や責任
教職員の資質の向上を図る研修	
安全・安心な学校づくり	コミュニケーション能力

新規の希望研修 NEW

研修名	日数
■書写の授業力アップ講座 —書の上さを楽しむ授業づくり—	1日
■小学校わくわくサイエンス講座 —実感を伴った理解を図る理科の観察・実験—	4日
■現代科学技術講座 —現代の科学研究・技術の体験—	1日
■小学校科学工作講座 —授業に使える楽しい科学工作—	2日
■中学校理科教育講座 —体験活動を重視した授業づくり—	2日
■生物教育講座 —カイコを使った実験教材の工夫と指導法—	1日
■地学教育講座 —微化石を活用した地学教育—	1日
■化学教育講座 —教材の工夫と効果的な実験の紹介—	1日
■物理教育講座 —教材の工夫と効果的な実験の紹介—	1日
■特別支援教育課題別講座 —特別支援教育の専門性を磨く—	5日
■情報機器活用講座 —プロジェクトと電子黒板を活用した授業づくり—	2日

※詳しい日時・内容については、H23年度研修事業案内で確認してください。

● 相談事業

◆教育相談

対象・・・本人（幼児・児童・生徒）、保護者、教職員等
 方法・・・来所相談（総合教育センターに来所しての相談）
 電話相談（電話のみの相談）
 相談日・・・月曜～金曜（祝日等休館日を除く）
 相談時間・・・9：30～16：30
 連絡先・・・077-588-2311



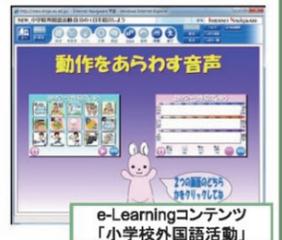
発達障害等のある子どもについて、教育相談を実施しています。

● 学校支援事業

◆教育の情報化

①しがe-センターでは、様々な教育用コンテンツが利用できます。

- ・e-Learningシステム
- ・教育学習情報システム
- ・高等学校図書横断検索システム



②教育の情報化推進にかかる研修をサポートします。

- ・情報モラル教育
- ・学校における情報セキュリティと個人情報漏洩対策
- ・初級者向けの実技研修会

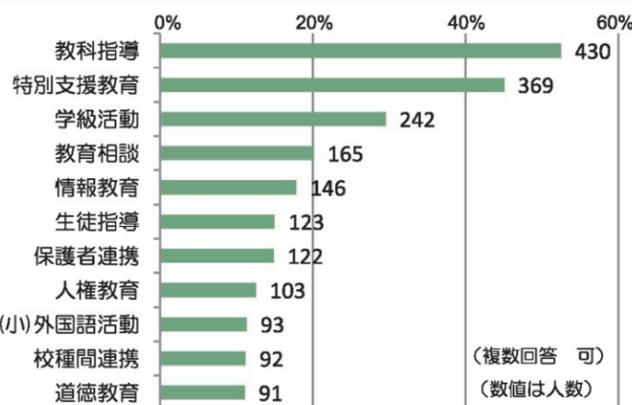
◆出前支援・出前発表

①地域・学校・園における研修会・研究会での助言等、センター所員が出張支援を行います。

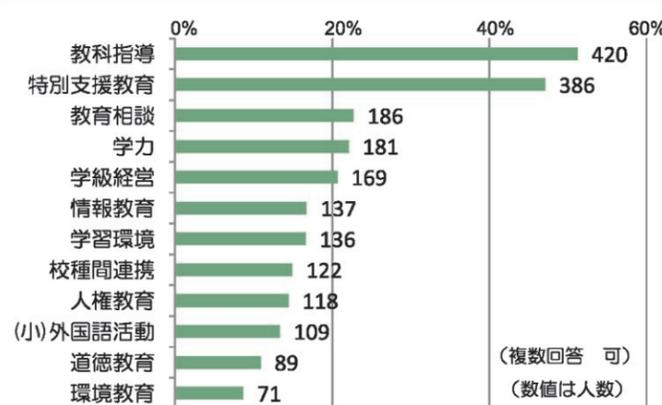
②研究成果の発表を行います。

研修

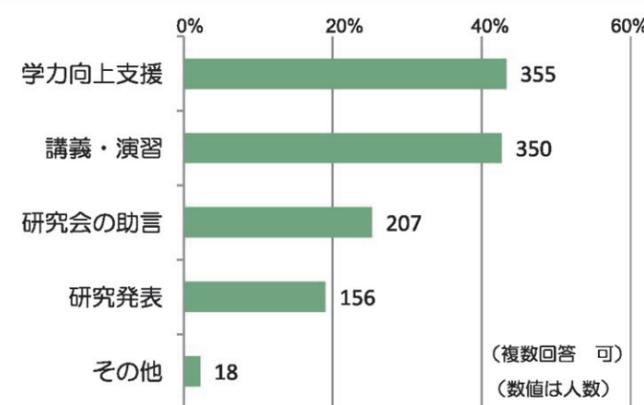
参加したい研修・講座



必要な研究内容



出前支援に望むこと



平成22年度総合教育センター事業にかかるアンケート結果

回答数は820名でした。
ご協力ありがとうございました。

8月に、抽出校・園の先生方にご協力いただき、事業にかかるアンケートを実施しました。その結果からいくつかを紹介します。

- ◆「参加したい研修・講座」、「必要な研究内容」ともに教科指導と特別支援教育に関するニーズが高いことがわかります。
- ◆「出前支援に望むこと」では、各学校・園の課題や実態に合わせて学力向上支援、講義・演習や研究会の助言のニーズが高いことがわかります。

総合教育センターは、このアンケートや研修講座の受講の際に提出いただいた振り返りシート等から改善点を見だし、来年度の事業を計画しています。

研究

センターの研究成果を学校・園へ

● 研究事業 [平成22年度研究一覧]

お役に立ちます

教科・領域

- 目的に応じた効果的な読み方の指導
— 拾い読み・比べ読みの学習シートを使って—
- 構成を考えた確に書く力を育む指導
— 構成と記述に焦点を絞った継続的な学習活動を基盤に—
- 「伝統的な言語文化」に親しむ導入期の古典指導
— 身近な文語教材を用いた授業実践—
- 「数学的な表現を用いて説明する力」を高める指導の在り方
— 一次関数の指導においてよみとることや伝え合うことを生かして—
- 科学的な見方や考え方を養う授業づくり
— 「B生命・地球」における実感を伴った理解を図る学習活動を通して—
- 身近な川と琵琶湖をつなぐ環境学習
— フローティングスクールにおける環境教育副読本の有効活用—
- 主体的に英語学習を進める生徒を育成するActive Readingの実践
— 英文読解技能の定着を目指した中学校英語科の授業づくり—
- 理解から行動につながる実践的態度の育成
— 「違い」を認め合う学習プログラムの作成を通して—
- 教師の学び合いを高める学校づくり
— 道徳教育推進教師を核にした「かなめ」プラン—

特別支援教育

- 個と集団をつなぐソーシャルスキル学習を活用した学級づくり
— 特別な支援を要する児童の仲間関係の向上を目指した取組み—
- 教科担任制を生かした特別な支援の在り方
— 中学校通常の学級における連携の効果的な活用—
- 知的障害のある児童生徒の力をひき出す校外学習
— 機会や場面を有効活用する「校外学習 ONE - UP プロジェクト」の実践を通して—
- 自己の生き方について考える力を育てる学習活動の在り方
— 特別支援学校高等部における「マイライフドリームプラン」を作成する進路学習を通して—

情報教育

- 小学校外国語活動における学習プログラム“O・N・E Step English！”
— 電子黒板を活用したコミュニケーション活動の充実を図る授業実践—
- 小学校におけるデジタル教材を活用した授業に関する研究
— 家庭科における食育を支援する教材の作成と効果的な活用の在り方—
- 全国学力・学習状況調査結果の活用に向けた支援に関する研究
— 個に着目した指導に生かせる分析支援システムの開発—
- 高等学校における新科目「社会と情報」の授業づくり
— 情報社会に積極的に参画する態度の育成—

● 教育学習情報システムで



ご利用ください

◆ 研究紀要は「研究・各種調査」、教材や手引きは「学習素材・教材」から



高校古典には、こののはパーシク (古典編)
道徳教育推進教師には、「かなめ」プラン

他にも研究で使ったたくさんの教材等があります。まずは、ログインを！

● 要旨集・研究ダイジェストCDで (4月に各校・園へ配布予定)

- ◆ 研究の概要をまとめた要旨集 (1研究につき見開き2ページ、全研究を収録)
- ◆ 映像と音声で紹介する研究ダイジェスト (1研究3分程度の紹介版、全研究を収録)

お届けします

● 研究発表会・出前発表で

◆ 平成22年度研究発表会を開催しました
2月16日(水)、当教育センターにて開催した研究発表会には、県内外から多数の教育関係者にご参加いただきました。皆様からいただいたご意見・ご感想を参考に、さらに研究を深めていきたいと思っております。
平成23年度も2月中旬に研究発表会を開催する予定です。

◆ 研究の成果を出前形式で発表します
センター所員が各学校・園、教育研究所等の研修会に向き、研究成果の発表を行います。
研究紀要、要旨集・研究ダイジェストCD、教育学習情報システムなどをご覧いただき、活用したい研究がございましたら下記カリキュラムサポートまでご連絡ください。
ただし、時期や都合により、ご依頼に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください。

ご利用ください

カリキュラムサポート

TEL・FAX：077-587-6210
E-mail：k-spt@bz01.plala.or.jp

県内の学校・園および教職員に対して、教育学習情報の提供等を行い、特色ある学校づくりや授業力向上等の支援をします。
出前支援・出前発表、教育の情報化推進等、あなたの疑問にお答えします。
詳しくは、上記専用回線・専用アドレスへ

ご連絡ください